

『こころのバリアフリー』 ってなんだろう??



「こころのバリアフリー」 ってなあに??

例えば…

- ・ こころの垣根をとってバリアフリーを目指すこと
- ・ 知らない不安を、『知ること』、『理解すること』で解消し、
自分にできる サポートをすること

「こころのバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支えあうことです。

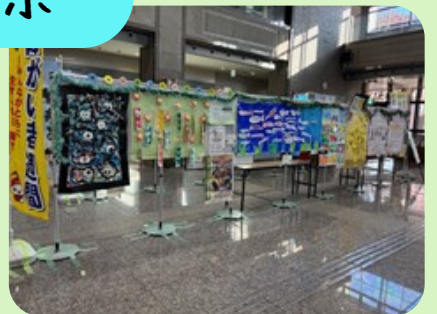
海老名市では、平成15年からすべての人を対象に、障がい者が地域住民に正しく理解され、社会の一員として生活するとともに、すべての人が安心できる街づくりを目的に普及啓発事業を行っています。

あなたにとってのこころのバリアフリーとは何でしょうか？
いろんなイベントをヒントに、こたえを見つけてください。

講演会



展示



交流イベント

障がいってなんだろう??

障がいには様々なものがあります。目が見えないことや足が不自由なことの他に、自分の気持ちがうまく伝えられない、気持ちを抑えることが苦手といったことも障がいのひとつであることがあります。

障がいについて知り、どのように支援できるかについて考えてみましょう。

身体障がい

身体の機能に制限がある状態。目(視覚)、耳(聴覚)、手足や体(肢体)の障がいの他、内臓(内部)障がい等の種類があります。車いすの使用や義肢の使用が必要な場合があります。

難病

原因が不明で、治療方法がまだわからない病気のことをいいます。300を超える病気があります。

脳の機能の障がい

知的障がい

様々なことを覚えたり、考えたり、判断したりすることが同じ年頃の人と比べてゆっくりだったり、苦手だったりする人がいます。

精神障がい

病気やけがのために感じたり、考えをまとめたり表現したりすることがうまくいかなくなる人がいます。

発達障がい

会話をすることや、他の人と関わり、「文脈を読む」ことや「行間を考える」ことが苦手な人がいます。

どんなサポートができる??

「車いすを押す」というようなことでなくても、サポートできることはたくさんあります。例えば、エレベーターのボタンを押す、扉を開ける、少し道をゆずるということなどもサポートになります。

すべての人が共に生きる社会を築くための重要な要素です。理解と協力を深めることで、誰もが尊重され、支えられる社会を目指しましょう。

理解することも
サポートのひとつにや!



ヘルプマーク：
内部障がい、難病、
脳の機能障がいなど、
外見からはわからない
けれど支援が必要と
表すマーク



補助犬：
盲導犬、聴導犬、介助犬など
身体に障がいのある方のサポ
ートしています。訓練を受け
仕事をしているため、ペット
ではありません。レストラ
ン、デパートなど民間施設で
も補助犬を受け入れる義務が
あります。
見かけた方も、ご理解をお願
いします。

「ともに認め合うまち・海老名宣言 ～かかわり・つながり・ささえあい～」

この宣言は、海老名市の障がい者施策の基本理念です。

＜宣言策定の経緯＞

平成15年度から障がいの理解・普及啓発を目指し、「こころのバリアフリー事業」（障がい者団体と、福祉関係機関による実行委員会主催）を実施してまいりました。しかし、平成28年7月、障がい者支援施設「県立津久井やまゆり園」では、障がいに対する偏見、差別的思考から痛ましい殺傷事件が発生、この事件に対して実行委員会では、改めて普及啓発活動強化の必要性を認識し、活動強化の取り組みの第一段階として、障がいへの差別根絶を願い「こころのバリアフリー実行委員会からの宣言」を發表しました。

さらに、次の取り組みとして、平成29年1月の実行委員会で市民のひとりひとりが障がいに対する理解認識を深め共生社会を目指す「『ともに認め合うまち』をめざして」が決議され、それを受け、海老名市が策定したものです。

＜目的＞

障がいへのあらゆる差別をなくし、人々がともに認めあい、支え合えるまちになることを目的としています。



海老名市は、あらゆる障がいへの差別をなくし、人としての権利が守られ、障がいがあってもなくても、誰もがその人らしく安全・安心に暮らすことができるように、ともに認め合うまちをめざして、次のことを宣言します。

- 「障がい」は決して特別なことではなく、誰にでも起こり得ることです。私たちはお互いに、多様な人格と個性・生き方を認め合い寄り添う社会、偏見や差別のない共生社会をめざします。
- 「障がい」ゆえの生きづらさを抱えながら生活している人が大勢います。私たちはお互いに勇気を持って言葉かけをしていきます。
- 海老名市は、「障がい」について関心を持ち、理解を深め、寄り添う気持ちを持てるよう、ともに認め合うまちづくりを推進します。

平成29年3月28日 海老名市

相談員が皆さんの「困ったな」「聞いてほしい」を受け止めます。



- 障がいのある方やそのご家族、関係する方の相談窓口です
- 相談室がありますので、お気軽にお立ち寄りください
- 場所：海老名市役所1階エントランスホール
- 時間：9:00～12:00、13:00～16:00
- 電話：046-200-7565

ともに認め合うまち・海老名宣言 ～かかわり・つながり・ささえあい～



海老名市は、あらゆる障がいへの差別をなくし、人としての権利が守られ、障がいがあってもなくても、誰もがその人らしく安全・安心に暮らすことができるように、ともに認め合うまちをめざして、宣言します。

こころのバリアフリー実行委員会
海老名市

イラスト/Miwa Toru

作成：海老名市こころのバリアフリー実行委員会



私たちのまち海老名は、いろいろな人が
くらしているよ。障がいのある人もない人も
みんなが安心していきいきとくらせるといいね!

<宣言①>

「みんなちがって、みんないい。※」 みんなで暮らそう!

※(金子みすゞ『私と小鳥と鈴と』より引用)



【ともに生きる社会をめざそう】

私たちは、だれでも大きな病気やけがをして障がい者になるかもしれないね。
自分自身は何も変わらないのに、差別やいじめを受けたら悲しいよね。
外見からわからない障がいがある人もいるよね。おたがいの違いを認め合おう。

【だれか困っていないかな? あなたのまわりで・・・】



【ヘルプマーク】

外見からは分からないが、
援助が必要な方のマーク



【白杖SOS】

視覚障がいのある方が
困った時の合図



【身体障がい者標識】

肢体不自由の方が運転をする
時につけるマーク



【耳マーク】

耳が不自由である
ことを表すマーク

<宣言②>

「おたがいに勇気をもって言葉かけをしよう!」

「大丈夫ですか」
「お手伝いしましょうか」

「お願いします」

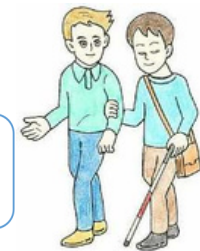


“あなた”も大切

“わたし”も大切。

「どちらまで?」
「ご案内しましょう」

「ありがとう
ございます」



<宣言③>

私たちのまち海老名は、いろいろな人が
もっと知り、みんなが寄りそい、みんなが
仲間になってまちづくりをすることを
めざしていくよ!!



【障がい者のための 国際シンボルマーク】

すべての障がいのある
人が利用できる建物・
施設を示すマーク



【盲人のための 国際シンボルマーク】

視覚障がい者の安全やバリアフリー
考慮した建物、設備、機器であるこ
うを示すマーク



【聴覚障がい者標識】

聴覚障がい者の方が運転
するときに付けるマーク



【ハート・プラスマーク】

心臓、腎臓など、体の
内部に障がいがあるこ
とを表すマーク



【オストメイト用設備 /オストメイト】

オストメイト(人工肛門、人工
膀胱を使用している人)及び
オストメイトの為の設備を表
すマーク



【ほじょ犬マーク】

盲導犬、聴導犬、介助犬等の
身体障害者補助犬の啓発の
為のマーク

他にもあるかな? こんなこと ～障がい者の不安と知ってほしいこと～

不安や驚きからすぐに言葉が
でてこないことがあります

少し言葉が出てくるのを待つて
もらえるとうれしいです



パニックから大きな声を出して
しまうことがあります

しずかに見守ってもらえると
うれしいです



急に話しかけられたり、早口で
話されると驚いてしまうことが
あります

ゆっくり話しかけて
もらえるとうれしいです



困っていそうなとき、体調が悪そう
なときに声をかけてもらえるとありが
たいです

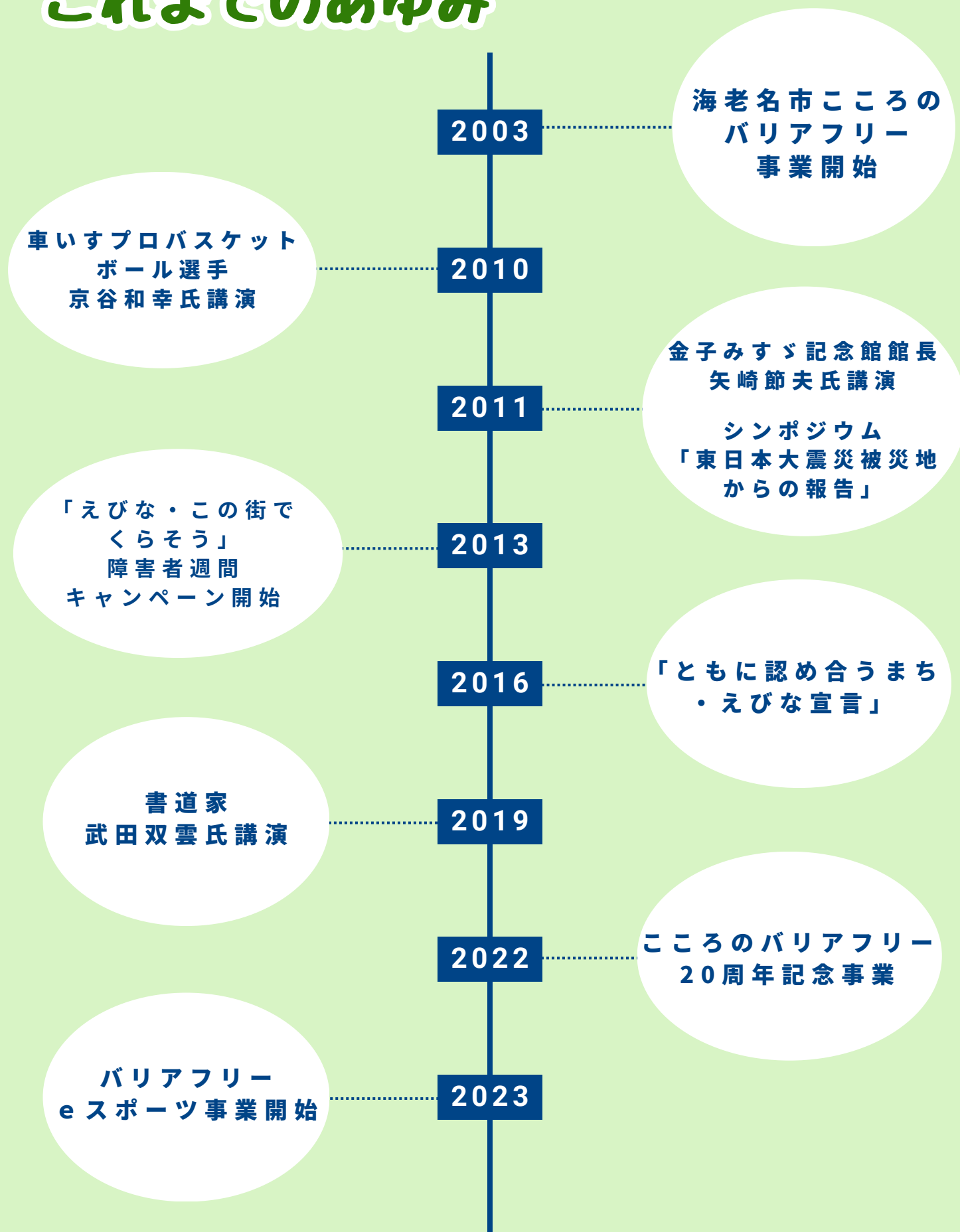
でも、急に体に触られるとパニックに
なってしまうことがあるので、
先に声をかけてもらえるとうれしいです

みんなそれぞれ、困っていることがちがうにゃん
どうしたらみんなが幸せか考えてほしいにゃ～



作成：海老名市こころのバリアフリー実行委員会

海老名市こころのバリアフリーの これまでのあゆみ



令和6年度実施したイベント

9月17日～27日
海老名アールブリュット展
市内8事業所が
参加してくれました！

同時開催
きら星コレクション☆



※kitpas
障がいを持った人が作り出すストレスチョーク
・窓にも書ける魔法のチョーク
・お米のワックスが原料で安心安全
・濡れた布で消すことができる
・作っている社員の70%が知的障がい者

「えびな・この街で
くらそう」にブース出展。
パラアーティストのライブ
ペイント、kitpasを使用し
お絵かきワークショップ
などを行いました。



11月3日、ららぽーと海老名
でバリアフリーeスポーツ
体験・交流会を実施しました。
全盲のeスポーツプレイヤーと
ストリートファイター6で対戦！



12月7日、講演会
「家族のきもち～本人の希望に
寄りそうこと～」開催。
障がいのある当事者と家族に
登壇いただきました！
アトラクションのダンス発表も
見ごたえがありました☆

令和7年度イベント予定

- 8月30日 バリアフリーeスポーツイベント
(ららぽーと海老名)
- 9月24日～10月10日 海老名アールブリュット展
& ぎら星コレクション☆
- 11月1日 えびな・この街でくらそう
- 12月13日 講演会（スペシャルゲスト登壇☆）

みんなの参加
待ってるにゃん！



こころのバリアフリー『ロゴマーク』について

四葉のクローバーには4つの意味があります。

1つは「愛」 2つは「信仰」 3つは「希望」 4つは「幸福」です。

普通は3枚のクローバーがなぜ、4枚の葉になるのかというと、

踏まれたりして茎などが傷ついたりすると、

そこから4枚目の葉ができることがあるそうです。

ですから、人里離れた山の中よりも、身近な所に「幸福」が多いそうです。

そんな風に傷ついても、そこから「幸福」の葉が生まれてくるなんて、

なんて前向きなののでしょうか。そんな素敵なクローバーを基本に

「こころ」というハートをつけて、ロゴマークができました。

地域の中で素敵なクローバー（ハートつき）を

たくさん見つけていきましょう。



市内にある事業所の皆さんと、
えびな支援学校の生徒さんと協力して、
四つ葉のクローバーを作成しました！

